（別紙３　様式第10号）

活　動　計　画　書

（変更）

令和　年　月　日策定

令和　年　月　日修正

森林・山村多面的機能発揮対策交付金に係る活動計画書

1. 組織名

|  |
| --- |
| 　　 |

1. 所在地

|  |
| --- |
| 　　 |

３．地区の概要、取組の背景、地元の自治体、自治会、集落等のニーズに対応するなど地域の活性化への寄与等

|  |
| --- |
|  |

４．取組概要

|  |
| --- |
| 　 |

5.　構成員の概要

|  |
| --- |
|  |

6．年度別スケジュール（**新規団体の場合は5年度・6年度・7年度の計画を記入、**

**それ以前はそれぞれとなります。）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 取組概要 | 　年度 | 　年度 | 　年度 |
| １．活動推進費 |  |  |  |
| ２．実践活動 |  |  |  |
| A-1地域環境保全タイプ（里山林保全） |  | ha |  | ha |  |  ha |
| A-2地域環境保全タイプ（侵入竹除去、竹林整備） |  | 　ha |  | ha |  | ha |
| B 森林資源利用タイプ |  | 　ha |  | ha |  | 　ha |
| C 森林機能強化タイプ |  | ｍ |  | ｍ |  | ｍ |
|  | ha |  | ha |  | ha |
| ２－１．間伐等（除伐・枝打ちを含む）実施面積 |  | ha |  | ha |  | ha |
| ２－２．活動を始める時点で長期にわたり手入れをされていなかったと考えられる里山林を整備する面積 |  | ha |  | ha |  | ha |
| D 関係人口創出・維持タイプ |  |  |  |  |  |  |
| ３．資機材・施設の整備等 |  |  |  |

※１．延長には森林調査・見回りを除く。

※２．２のCの森林機能強化タイプの森林面積については、スケジュールの期間内に地域環境保全タイプ又は森林資源利用タイプにより森林整備を実施する面積を記載する。

※３．２－２については、2年目以降はその前年度までの活動により該当する里山林の整備を実施している場合は、その里山林の面積を除外し、その年度に新たに該当する里山林の整備を実施する面積を記載する。

※４．２のDの関係人口創出・維持タイプについては、年度毎の実施内容を記載する。

7.　活動の目標と活動結果を測定するためのモニタリング調査方法（地域環境保全タイプ及び森林資源利用タイプについて記載）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| タイプ名 | 目標 | モニタリング調査方法 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

（注）目標の設定及びモニタリング調査方法の記載については、別に定めるガイドラインを参考とすること。施業地・タイプごとに３年計画全体の目標数値を記載する。

8．年度別に実施する安全講習等の名称及び内容

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年　度 | 講習の名称 | 講習の内容 |
| 　年度 |  |  |
| 　年度 |  |  |
| 年度 |  |  |

　（注）安全講習等は、対象森林内で実施するものを記載すること。

9．安全のために装備する物品名称及び傷害保険の名称

　　　※安全装備

|  |
| --- |
| 　　　　　 |

　　　※傷害保険の名称

|  |
| --- |
| 　　　　 |

１0．４年目以降の活動（森林管理）計画

|  |
| --- |
|  |

１1．計画図（協定の対象としている区域の図面）別添のとおり

１2．持続性向上に向けた取組

|  |
| --- |
|  |

※活動する人材の育成や確保、活動経費の確保など、活動組織が本活動計画終了後も活動を継続していくために行おうとする取り組みについて記載する。

１3．その他

（１）写真添付

　　　　・　竹が80％以上の竹林

　　　　・　長期にわたり手入れされていない里山林

* 作業道、歩道予定地（起点・中間点など）

　　　　・　対象外（添付写真無）

（２）収入

　　　会費、林産物収入など森林・山村多面的機能発揮対策交付金以外の収入がある場合は記載すること。

|  |
| --- |
|  |

（３）委託